

2018

2

広報

隠岐の島

隠岐の島町消防出初式一斉放水

1月6日（役場本庁前）

通常点検と式典を終えた消防団の皆さんは、役場前から八尾川に向かって一斉放水を行いました。休日開催ということもあり、多くの方が見物に訪れました。

特集

町長年頭ごあいさつ

成年生まれの年男・年女 今年の抱負を語る
我が家の愛犬紹介します

平成30年 いぬ 戌年

今年の抱負を語る 生まれの年男・年女



昨年を振り返り、新たな誓いを立てるこの時期。皆さんはどのような夢や目標をお持ちでしょうか。ここでは、今年の干支である戌年生まれの方の皆さんの新年の抱負をご紹介します。



まつもと せれな
松本 誠玲菜さん
平成6年生まれ（栄町地区）

昨年は、健康の大切さを痛感した年でした。春には家族も増えるため、より一層健康に気を付けたいです。また、周りの方に助けていただいて仕事と育児の両立ができていて、日々感謝の気持ちで忘れず過ごしていきたいです。



いしかわ ひろたか
石川 洋貴さん
平成6年生まれ（原田地区）

昨年は怒涛の年でした。新たな試み、新たな出会い、新たな考え。そのおかげでカフェをオープンすることができ、皆様に愛されるお店づくりに一歩また近づけたと感じております。今年は年男ということなので、更に精進しがばっていききたいと思います。



さいとう ここな
西藤 心和さん
平成18年生まれ（有木地区）

今年は、中学生になるので、勉強と友達をたくさん作ることをがんばりたいです。



おおつき かんちょう
大槻 寛長さん
昭和9年生まれ（栄町地区）

戌戌（つちのえいぬ）の幕開け、私も7回目の年男を迎え感無量、また民生児童委員就任23年目となりますが、未だ「百年を行く者は九十里を半ばとす」の心境です。今一度駄馬に鞭打ち福祉の道にまい進。



よしもと はるえ
吉本 春江さん
昭和45年生まれ（港町地区）

一日が、とても早く感じます。都会で暮らす一人娘とのLINEが、楽しい日課のひとつです。皆さんの「出会い」に感謝の気持ちでいっぱい。みんなが「笑顔」になれるように！私も、いつも「思いやり」と「笑顔」を忘れないように、頑張りたいです。



ささき たけし
佐々木 健さん
昭和57年生まれ（城北町地区）

第一に家族を思い、次に仕事、趣味の隠岐太鼓を頑張る、隠岐を盛り上げていきたいです。
隠岐大漁太鼓～！

平成30年を迎えて 町長年頭ごあいさつ

町民の皆様との対話重視のまちづくりを進めます

町民の皆様、あけましておめでとございます。

さて、私は昨年就任一年を迎えさせて頂いた年でありました。一年間を振り返りますと、私が申し上げて参りました「生まれ良かった」、「住んで良かった」、「訪れて良かった」の3つの「良かったが響くまち」を基本方針に、職員と一丸となり「チーム隠岐の島」として日々取り組み、誰もが少しずつではありますが、目標に向かって進んできているように感じるところでございます。

一貫して、「まずは机でなく、現場に出かけ話をしよう。」「要望・相談などは、まずはだめでなく、できるための方策を検討しよう。」と職員と目標を共有してきたところであり、引き続き町民の皆様との距離感のない対話重視のまちづくりを進めて行きたいと考えているところでございます。

本年は、新庁舎の建設、懸案事項の西郷港周辺の整備をはじめ、子育て・福祉・保育行政における環境整備、地区要望に沿った公共事業の実施、支所を中心とした地域施策等々やらなければならぬ急がれる課題は山積みです。

これらお約束をして参りました諸施策につきましては、平成30年度当初予算案におきまして、実現に向けた予算編成の上、取り組んで参る所存でございますので、ご協力に併せ積極的なご意見をお聞かせ願います。

いよいよ新たな一年が始まります。新たなエネルギーを蓄え、新年の町政に向け、辛い一年は払拭し、新たな出発をもつてより一層、ふるさと隠岐の島のため働く所存でございますので町民の皆様へ更なるお力添えをお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、難きよき年となりますようご祈念申し上げます。本年も変わります、よろしくお願い申し上げます。

隠岐の島町長 池田 高世偉



▲池田町長（左から3人目）と本庁に勤務する若手職員

隠岐の島町の戌年生まれの方：1,079名（平成30年1月1日現在）

わが家の愛犬 紹介します

今年の干支、戌年にちなみ、皆様のご自慢の愛犬を紹介してもらいました。
社会性が高く、忠実で人の生活に近い犬。戌年は、「安産」、「地盤を守る」年であるという言い伝えもあります。
2018年は、皆さんと愛犬ちゃんにとって、素敵な1年となりますように。



リク 7歳
ミニチュアダックスフンド
渡辺家（蛸木地区）



ビビ 15歳
ポメラニアン&豆芝
原家（栄町地区）



ボボ 9歳
ヨークシャーテリア
吉田家（東郷地区）



まめ 0歳（8ヶ月）柴犬
石川家（栄町地区）



ルチア 2歳 トイプードル
松本家（有木地区）



桜 2歳 トイプードル
田崎家（郡地区）



ふんた 文太 7歳 トイプードル
井奥家（東町地区）



まめ 0歳（10ヶ月）柴犬
藤田家（犬来地区）



マルコ 0歳（9ヶ月）
マルチーズ
岩水家（港町地区）



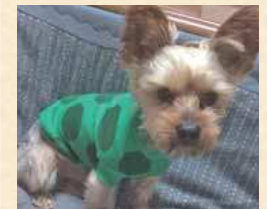
ファール 2歳
ボーダーコリー
竹森家（犬来地区）



ロン 11歳
ラブラドルレトリバー
若林家（西町地区）



あき 歩生 14歳 トイプードル
松生家（布施地区）



ロイ（ROY） 4歳
ヨークシャーテリア
大西家（原田地区）



ちま 12歳 チワワ
川畑家（東郷地区）



（右上）**鈴 6歳**
（左上）**エレナ 15歳**
（左下）**につきー 12歳**
マルチーズ
藤原家（油井地区）



ハナ 8歳 ポメラニアン
牧野家（栄町地区）



（右）**ブリッツ 10歳 トイプードル**
（左）**マイロ 11歳 ミニチュアダックスフンド**
村上家（津戸地区）



レオン 6歳
トイプードル
新見家（犬来地区）

カメラリポート

12月4日

まちへの想いを町長にぶつける 隠岐の島町子ども議会

役場議場で、隠岐の島町子ども議会が開催され、町内4中学校の3年生が、一般質問形式で町長に質問、提言を行いました。生徒たちは、隠岐の島町の課題や将来のまちづくりについて考え、時間をかけて調査、研究し、今回の議会に臨みました。

議会には多くの傍聴者が訪れ、子どもたちの意見に耳を傾けました。



▲町長に提言をする西郷中学校生徒

子ども議会を振り返って

西郷南中学校 横地成美さん

私たちのグループは、若者定住をテーマとした提言をしました。この総合的な学習の活動を通して、隠岐が今かかえる問題について考えたり、良い提言を作成するために試行錯誤したりすることができました。

隠岐の島町のまちづくりについて進めていくうちに、隠岐をもっと良いまちにしたいと思うようになりました。

みんなで作った提言は、高校生や役場の方々の協力もあり、とても良いものになりました。実際に発表するときは、補助でしたが緊張しました。でも、自分が伝えなかった想いは、町長に伝わったと思います。議会というものを初めて間近で見て、そして参加することができて、自分自身が政治に参加しているということが実感できました。この活動は終わりましたが、隠岐に住んでいるので、隠岐について考え続けていきます。

1月2日

船の初詣、豊漁を祈願 松直し神事

西郷湾周辺と今津地区の白鳥神社で、今年1年の安全と豊漁を祈願する松直し神事が行われました。

西郷湾では、多くの漁船が大漁旗を掲げ、海岸にある神社や祠を次々と参拝しました。

一方、今津地区の松直しは、神社に奉納された北前船の模型を拝殿の中で3周半曳いて回るといって、珍しい神事です。

▶西郷湾を出発する船団



◀船の模型を引く
今津地区の皆さん

1月4～5日

正月でなまった体を動かそう 冬休み複合型子どもスポーツ教室

隠岐の島町総合体育館で、町内の小学生を対象に、冬休み複合型子どもスポーツ教室が開催されました。

参加した16人の子供たちは、トランポリン、マット運動、レスリングで汗を流しました。高村行雄館長さんは、「屋内でテレビゲームなどで遊ぶことが多かった。これからは機会を設けるので、子どもたちには思い切り体を動かしてほしい」と話しました。



▼マットの上で飛び込み
前転

▲普段はやらない動きを
するトランポリン



12月21日

高度情報社会を生きるために 隠岐高校IT（情報技術）人材育成事業成果発表会

隠岐高校と地元IT企業が連携し、地域の観光の課題をIT技術を使い解決に取り組む、「IT人材育成事業」の成果発表が隠岐高校で行われました。

隠岐高校商業科の生徒6名は、2つのグループに分かれ、自ら作成した町の観光スポット、魅力を発信する地図アプリケーション（スマートフォンなどで起動させるプログラム）を発表しました。

生徒は、「IT関係の仕事がしたいため、卒業後は隠岐を離れるが、もし隠岐でもそういうことができれば帰りたい」と話しました。



▲西郷港周辺の飲食店を地図に表示させる「らとこんたのごっつおマップ」を発表をする生徒たち

背景

ロボット化で私たちの仕事なくなる?

「10～20年後には、現在の日本の労働者人口の約半数が就いている職業を、人口知能（AI）やロボットなどに置き換えることができる」と言われています。

事務員、レジ係、警備員、バス運転手、建設作業員、受付係など、秩序的・体系的な操作を行う仕事については、AIやロボットへの置き換えが進むと予測されています。

一方で、「導入されたロボットの管理」といった新たな職業が生まれたり、従来からある職業についても、ITに関する知識が必要になったりすることも予想されます。

IT技術の発達は、「第4次産業革命」とも呼ばれ、社会に大きな変化をもたらしていくことは確実で、子どもたち、若者たちには、ITを活用していく能力が必要となります。



「隠岐の島町の今」を伝える投稿記事を大募集!

『広報隠岐の島』では、皆さまからの投稿記事を募集します。

「地域で行われた行事」、「あなたのカメラがとらえた決定的瞬間」などをお寄せください。この「カメラリポート」内で、みなさんが撮影した写真を通じて、まちの様子を紹介します。

○応募方法

次の掲載内容と連絡先を明記の上、封書、持参または電子メールで役場広報広聴係まで提出をお願いします。なお、被写体の掲載許可は、投稿者で取っていたいただきますようお願いします。

投稿、お問い合わせ先は、14ページ「Happy Birthday」に記載しています。

○掲載内容

1. 地域や団体で行っている活動や行事、季節を感じる風景など町内で撮影した人やまちの様子を伝える写真
2. 写真の説明文
3. 応募者の氏名（イニシャル可）・地区

○掲載する記事

紙面の都合により、すべての投稿が掲載できない場合があります。掲載記事は、「より多くの投稿者、地域、場面の記事を掲載する」という観点で、広報広聴係において選定します。また掲載は、投稿された翌月に発行する号になります。



隠岐の島町教育委員会事務局
電話222006 (代表)

教育委員の構成について

このたび、教育委員の異動があり、1名の教育委員が任期満了のため退任されました。また、平成30年1月1日に新たな教育委員が任命され、教育委員会が新体制となりましたのでお知らせします。

【退任教育委員】

秋庭 ゆみ子 氏

【任命教育委員】

嶺野 慶子 氏 (新任)

【新たな教育委員会の体制】

教育長 村尾 秀信 氏

委員 野津 幸恵 氏

委員 津 義文 氏

委員 山下 豊範 氏

委員 嶺野 慶子 氏

(教育長職務執行代理者)

退任された秋庭ゆみ子氏は3期12年にわたり教育委員をつとめられ、隠岐の島町の教育行政に御尽力いただきました。今後とも、ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

「優れた教育活動表彰」を受賞 「おきの子ら」編集委員会

このたび、「平成29年度優れた教育活動表彰」として「おきの子ら」編集委員会が島根県教育委員会より表彰されました。

作文集「おきの子ら」は、「隠岐の子」もたちの今の思いが、素直にいきいきと、その子らしい言葉で表現された作文集をつくりたい」という願いを持つ島後内の教職員の取り組みから始まり、現在まで63年間継続して発行されています。

今回の表彰にあつては、長年にわたり多くの児童生徒、保護者、地域住民に親しまれ読み継がれた「おきの子ら」の編集発行を行い、次世代への文化の継承に貢献したこと、また、作文・詩歌指導の充実に向けた研修にも取り組んでいることが評価されました。

「おきの子ら」は毎年3月ごろに発行され、町立図書館や各小中学校でご覧になれます。隠岐の島町の子どもたちが生活のなかで何を経験し、何を感じているのか、興味がある方はぜひご覧になってみてください。



平成29年3月発行
「おきの子ら」63号

平成29年度「放課後子ども教室推進事業」

放課後子ども教室とは、地域の方々の協力を得て、公民館や学校の余剰教室をお借りし、放課後の子どもたちに安心・安全な居場所を提供する事業です。

町内の小学校、全7校ごとにこの事業を行っており、各教室にはそれぞれ地域の方が「安全管理員」としておられます。

活動内容は、主に学習やスポーツ、文化活動などで、具体的な活動内容や活動日は、各教室で決めてもらっています。

この事業は、隠岐の島町教育委員会が実施主体となり、国や県からの支援を受け、行なっています。



12月18日、有木小学校で行われた放課後子ども教室

今回は、12月18日に行われた、有木小学校の活動の様子を紹介いたします。

この日は、有木小学校体育館で、軽スポーツ3種目（カローリング、吹き矢、フリスビー投げ）を行いました。児童の皆さんは初めてやるスポーツばかりだったと思いますが、すぐに覚えて楽しそうに体験していました。

また、3種目もあったため安全管理員が心配しましたが、地域の安全管理員9名もの方々に来ていただき、怪我などなく行うことができました。

現在、この事業は、どの教室も安全管理員が不足している状況です。子ども達が心豊かで健やかに育つ環境を一緒に作りませんか。

興味のある方は、隠岐の島町教育委員会生涯学習課までお問い合わせください。



■お問い合わせ先
教育委員会生涯学習課

電話22126

隠岐独特の神社型式 「隠岐造」

玉若酢命神社本殿の保存修理工事は、12月末をもって終了しました。屋根の茅が新になり、黄金色に輝く屋根が神社の杜に映えています。

さて、今回は「隠岐造（おきづくり）」の本殿形式についてご紹介いたします。隠岐造とは、神社の本殿の中で隠岐独特の形式を持つものをことを指します。全国では、伊勢神宮の「神明造」や出雲大社の「大社造」、春日大社の「春日造」など有名ですが、その一つとして隠岐造も知られています。町内で本殿が隠岐造とされるものは、郡地区の水若酢神社、久見地区の伊勢命神社、都万地区の高田神社、今津地区の白鳥神社など、規模はさまざまですが約50棟を数えます。

隠岐造の特徴は、色々あります。大きくは次の2点です。

①切妻造妻入（きりづまづくりつまいり）である。

②屋根と向拝（本殿前面の庇）が連続せず建物に取り付けられている。

見た目は大社造や春日造によく似ていますが、本殿入り口が正面にあり、向拝が建物に直接取り付けられているところが違います。



湊地区 湊神社（春日造）
屋根と向拝が一連につながっている。



松江市 神魂神社（大社造）
階段の上に屋根が取り付けられている。



下西地区 玉若酢命神社（隠岐造）
屋根と向拝がつながっていない。

町内には多くの神社があり、隠岐造・神明造・春日造・流造など様々な形式の本殿を見ることが出来ます。一つ一つ神社の裏にまわって本殿を眺めてみると、また新たな発見があるかもしれません。

図書館だより

隠岐の島町図書館

電話08512-2-2341 Fax08512-2-9198

●開館時間10時～18時 ●休館日（月曜日・第3日曜日）
※祝日が月曜と重なった場合は開館し、翌平日は休館



はじめてのポーランド旅行

ポーランドってどんな国か知っていますか？相撲などで隠岐とも関わりが深いけれど実際はどんな国なのでしょう？

ポーランド出身の国際交流員イザベラさんに、おすすめの観光スポットやおいしい食べ物などを紹介してもらいます。

参加費・お申し込みは必要ありません。

日時：2月3日（土）午後3時～4時

講師：ラチンスカ・イザベラ氏（国際交流員）

場所：隠岐の島町図書館 研修室

併せて2～3月に、ポーランドの紹介展示も行います。こちらもお楽しみに！



障害者差別解消支援地域協議会を設置しました

障がい者差別を解消する取り組みを効果的かつ円滑に行うために、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」第17条第1項の規定に基づき、障害者差別解消支援地域協議会を組織しましたので、同法第18条第5項の規定により、次のとおり公表します。

1. 障害者差別解消支援地域協議会の名称等

本町ではすでに、障がい者施策全般について協議する「隠岐の島町地域自立支援協議会」を設置していますので、平成30年1月1日から同協議会において、「障がいを理由とする差別の解消の推進」に関することがらを受け持つことにしました。

個人番号カードに関するQ&A

個人番号カード（マイナンバーカード）と制度について、いくつかの質問にお答えします。

個人番号カードから、個人情報漏れるのでは？

A1.

カードには、住所・氏名・性別・生年月日という基本情報と電子証明機能以外は搭載されず、税や所得の情報は各機関が管理するので、カードからこれらの情報が漏れることはありません。

Q2.

制度を運用していく中で、情報漏えいの危険があるのでは？

A2.

情報漏えいを防止するため

- ①情報は二元管理せず、分散管理する
- ②情報連携は、情報を暗号化して行う
- ③特定個人情報保護委員会による監視・監督を行う
- ④インターネットにつながらないネットワークで運用する

などの対策をとっています。

■お問い合わせ先

役場総務課広報広聴係

電話2・8・5・7・2

2. 協議会の構成員
「隠岐の島町地域自立支援協議会」は、次の関係機関で構成しています。

区分	出身団体等
医師	隠岐広域連合立隠岐病院
障がい者福祉関係施設職員	社会福祉法人 わかば
	障がい者支援施設 仁万の里
	多機能型事業所 みんなの作業所
	社会福祉法人 ふれあい五箇
障がい者団体・家族会役員	社会福祉法人 高田会
	社会福祉法人 隠岐の島町社会福祉協議会
	島後地区家族会
	手をつなぐ親の会
障がい者ボランティア団体役員	仁万の里保護者会
	隠岐の島町身体障害者福祉協会
保健所職員	さくらんぼの会
養護学校教職員	島根県隠岐支庁隠岐保健所
公募に応じた者	島根県立隠岐養護学校
	一般

■お問い合わせ先

役場福祉課地域福祉係

電話2・8・5・6・1

Part 8

健康づくり通信

間食について



間食（おやつ）は、気分転換やストレス解消になる一方で、食べ方次第では病気を招くこともあります。みんなで間食について考えてみましょう。

「1歳までの赤ちゃん」

●基本的に、間食はあげないで

離乳期の赤ちゃんの胃や腸は、未発達なため、離乳食を消化吸収するのに精一杯です。そのため離乳食以外に食べ物が入ってくると赤ちゃんの体には負担になることもあります。また、食事との間でお菓子や果物を食べてしまうと、胃が小さいためお腹が空かず、肝心な離乳食を食べられなくなることもあります。

赤ちゃんが喜んで食べる姿はかわいですが、離乳食をしっかり食べてもらうために、間食をあげないよう、子守りをしているおじいちゃん、おばあちゃんも注意をしてください。

島根労働局から積雪・凍結による転倒災害を防止しましょう

今冬も、山陰では雪が降りやすく、大雪との予報もあります。事業所の皆さまにおかれましては、積雪・凍結に起因する転倒災害の防止に万全を期していただきますよう、お願いいたします。

○事業所で取り組む転倒対策

1. 今すぐ

❑凍結危険箇所の把握

雪が踏み固められて凍結しやすい駐車場、屋外通路、建物出入口など敷地内の危険箇所を把握しましょう。

❑凍結危険箇所の見える化

把握した危険箇所は表示や危険マップで「見える化」をしましょう

2. 降雪、寒波予報時

❑通勤、帰宅への配慮

労働者が安全に出勤、帰宅できることを優先し、必要に応じて勤務時間を柔軟に変更しましょう。

❑転倒防止マットの設置

建物出入口には雪や水分を拭き取るためのマットを設置しましょう。

3. 積雪時

❑危険箇所の凍結防止

把握した敷地、建屋内の危険箇所の除雪、凍結防止対策（融雪剤、砂の散布など）を徹底しましょう。

❑4S（整理・整頓・清掃・清潔）の徹底

建物内出入口付近や通路などの水濡れはすぐに拭きましょう。

○通勤・外出時の転倒対策

次の場所では雪が踏み固められ、特に滑りやすくなります。

❑横断歩道

白線は水の膜ができてやすいので歩かない

❑バスの乗降場所

乗降は手すりにつかまり慎重に

❑マンホール・側溝のふた

きちんと足元を見て回避！

❑駅やお店の出入口付近

建物内外の出入口付近は転倒多発地帯



■お問い合わせ先

島根労働局労働基準部健康安全課

電話08523111157

《子どもたち（特に幼児期）》 「間食（おやつ）」＝「お菓子」ではありません。

本来、子ども（特に幼児）にとつての間食は、3度の食事で補えなかった栄養素を補う「第4の食事」です。

間食には、小さいおにぎりや果物、ヨーグルトなどの乳製品をおすすめします。

手軽にあげられる飴などは口の中に糖分がとどまっている時間が長く、虫歯のリスクも高まります。食べる時間を決め、だから食べないことも大切なポイントです。

《大人の皆さま》

●食べる量に気を付けて

間食の摂り過ぎは、体重増加につながるだけでなく、血糖値や悪玉コレステロール、中性脂肪を上げやすくします。

体重50kgの人が、80キロカロリー（※）を歩いて消費するには、約30

※80キロカロリーの目安

せんべい・3枚
ビスケット・1枚半
ようかん・1/3切れ
カステラ・1/2切れ
メロンパン・1/5個
みかん・2個

分間かかります。食べるのは簡単ですが、消費するのは大変です。こたつの上にお菓子を置いている方、つい手が伸びてしまうことはありませんか？ 体重が増えやすい冬、特に注意が必要かもしれません。

《全世代共通して》

夕食後の間食は生活習慣病につながる！

本町の子どもたちの調査では、夕食後に飲食する習慣がある人が多く、内容もアイスクリームやジュースなどの糖分の多いものが多かったです。

夜は活動量が減るため、カロリー消費量が減ります。そのため夕食後にお菓子などを食べると、消費できなかった余分なカロリーが脂肪として内臓に蓄えられてしまいます。夕食後の飲食は、生活習慣病の引き金になりやすいです。

大人ももちろん注意が必要ですが、この不規則な習慣が幼児期からついてしまったら・・・子どもたちの将来がとて心配です。ぜひ家族みんなで、夕食後は飲食しない習慣を身につけましょう。

■お問い合わせ先

役場保健課健康係

電話2・8・5・6・2

ポーランド 波蘭新聞

Part 2

国際交流員
ラチンスカ・イザベラ



北海道よりさらに北、ポーランドの冬の過ごし方

冷気がひとしお厳しくなってきましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。今回は、日本よりずっと北に位置する、ポーランドの冬について話したいと思います。

「ポーランドの冬は寒いのか」とよく尋ねられますが、確かに寒いです。1月の平均温度は-3.3度ぐらいですが、突然の寒波が来たら、-30度まで下がることもあります。どうやってそのような寒さを乗り越えるかという、ポーランド人はこたつやストーブなどの器具を使わずに、セントラル・ヒーティング・システム（住居の1ヶ所にボイラーを置いて、温水を必要な場所に配り、空気や床を暖める）を利用します。そのため、外は吹雪であっても、室内ではいつも心地よい暖かさです。

冬になると、全国で大雪が降りますが、住宅街では、雪の量より氷の方が大変だと思います。雪が少しだけ解けたあと、また寒波が来れば、全ての道路の表面が凍り、非常に滑りやすくなるためです。交通事故だけではなく、人も滑ってケガをする恐れがあるため、法律によって、自分の住宅の回りの歩道に砂を落とすよう義務づけられています。

寒い季節の代表的な限定商品は、やはり体を温めるホットドリンクです。さまざまな喫茶店

やレストランで調味料を入れたホットワインを注文でき、ホットビールも売られています。また、レモンとはちみつ入りの紅茶を飲めば、風邪をひかないという考え方がありますから、冬になるとそのドリンクをよく作っています。



レモンとはちみつ入りの紅茶。
「これを飲めば、風邪をひかないよ！」

冬が長くて寒い国だから、ウィンタースポーツは盛んに違いないと考える人は多いみたいですが、ポーランドの場合、そうとも限りません。例えば、全くスキーができないポーランド人はかなり多いです。日本と違ってポーランドは、山が国の南部の一部にしかありませんから、誰でも簡単に練習できるわけではありません。しかし、スキージャンプは非常に人気で、大会のテレビ放送を夢中で見るポーランド人は多いです。また、ポーランドのいたるところにアイスリンクが設置されるようになり、アイススケートを楽しむ人が増えつつあります。

ポーランドの冬はこのような季節です。短い説明ですが、皆さまイメージできたでしょうか。

インターネットリンクコーナー

広報誌『隠岐の島』に掲載している情報の中には、インターネットで閲覧できるものもあります。下記のアドレスを入力しご覧ください。

- 個人番号カードについて（11ページ）
<https://www.kojinbango-card.go.jp/>（マイナンバーカード総合サイト）
- ウルトラマラソン大会ページ（12,16ページ）
<http://www.town.okinoshima.shimane.jp/www/genre/1428307758977/index.html>
- Happy Birthday（14ページ）
<http://www.town.okinoshima.shimane.jp/www/contents/1468213824618/index.htm>

情報 アラカルト

不審船または不審人物を見たら すぐ通報を

北朝鮮からと思われる不審な船や不審人物が発見されています。発見したら、近づくず、漂着している船や人なら「110番」（警察庁）、海の上なら「118番」（海上保安庁）へ連絡してください。

【平成29年の隠岐の島町での発見状況】
3件（神尾・油井・福浦地区）



神尾で発見された木造船（平成29年2月7日）

お問い合わせ先
役場総務課危機管理室

電話22111

中村・布施診療所松下先生が 「第30回ランナイズ賞」受賞

隠岐の島ウルト라마ラソンに第2回大会から連続出場している、中村・布施診療所長の松下耕太郎先生が、ウルト라마ラソンの歴史に残る「ランナイズ賞」を受賞されました。

松下先生は、自宅に届いたウルト라마ラソンの記録証に同封されていた「医師情報提供についてのお願い」を見て、本町の抱える医師不足を認識されました。マラソンを通じて隠岐は松下先生にとって特別な場所になったので、前任者が異動となったことをきっかけに、平成22年に本町へ赴任されました。

ランナイズ賞とは？

ランナイズ賞は、一般財団法人アールピーススポーツ財団により、長年に渡り、市民ランナーとして模範的生活を送り、健康であることの喜びや、ランニングのすばらしさを多くの人々に伝え、また仲間を作り、さらに地域の社会体育を考えていく、そのような地道で有意義な活動をされている人、団体について、その功績を讃える賞です。



役場で受賞の報告をする松下先生

今回の受賞は、ランナーとして数多くのレースに参加しながら、へき地医療に従事していらっしゃるのと。また、自身が走ることを通じて「身体を動かしながら痛みと共存しよう」という、ランナーならではの前向きなメッセージを発信していることなどが選考委員会（委員長・増田明美氏）に評価され、選ばれたものです。

現在も朝のジョギングを欠かさない松下先生は、「今後もできるだけ長く、隠岐の島町で情熱を燃やしたい。」と話しました。



今年のウルト라마ラソンで走る松下先生（写真中央）。大久地区寺空橋で。

隠岐の島ウルト라마ラソン実行委員会では、今後もスポーツ振興だけにとどまらず、地域振興に寄与する大会を目指して運営に取り組んでまいります。

今回の第13回隠岐の島ウルト라마ラソンのエントリーは、平成30年1月22日（月）から平成30年3月9日（金）までです。今年も、町民の皆さまの、たくさんの方のエントリーと応援をお願いします。



お問い合わせ先
役場観光課観光振興係

電話28575

隠岐の島町行事予定2月

1 日 木	
2 日 金	人権相談 13:00～15:00(西田会館)
3 日 土	立志式 10:00～(布施公民館)
4 日 日	
5 日 月	
6 日 火	
7 日 水	山田客祭風流(町指定無形民俗文化財)13:00～(山田神社) 年金相談 13:00～16:00(役場第一会議室)
8 日 木	年金相談 9:00～11:30(役場第一会議室)
9 日 金	
10 日 土	
11 日 日	建国記念の日 第41回隠岐の島卓球選手権大会 8:30～(隠岐の島町総合体育館)
12 日 月	振替休日
13 日 火	納付金時間外窓口 17:15～19:00(役場税務課)
14 日 水	
15 日 木	
16 日 金	
17 日 土	
18 日 日	エコフェスタ 10:00～13:00(隠岐島文化会館) 地域公共交通シンポジウム 13:30～17:00(隠岐島文化会館)
19 日 月	食育の日
20 日 火	
21 日 水	
22 日 木	竹島の日
23 日 金	
24 日 土	
25 日 日	
26 日 月	
27 日 火	
28 日 水	納付金時間外窓口 17:15～19:00(役場税務課)

2月22日は「竹島の日」

2月22日は、「竹島の日」です。
 島根県は、記念行事を行います。
 ■と き/2月22日(木)
 ■ところ/島根県民会館(松江市)
 ■申 込/入場を希望される方は、事前に申し込みが必要です。

■お問い合わせ先:
 島根県総務課 電話0852-22-6766

第13回 隠岐の島 ULTRAMARATHON
 2018年6月17日(日)
 スタート 100km 5:00
 50km 11:30

[エントリー期間]
 2018年 1月22日(月) から
 3月9日(金) まで
 [定員] 100km・50km 合計1,200名
 (うち 島外参加者750名)



■お問い合わせ先
 〒685-8585 島根県隠岐郡隠岐の島町城北町1番地
 隠岐の島町役場観光課内 隠岐の島ウルトラマラソン大会事務局
 電話:2-8575/FAX:2-4997
 e-mail: okiultra@town.okinoshima.shimane.jp



人口と世帯数

平成30年1月1日現在

人口	14,504(-17)人
男	7,039(-2)人
女	7,465(-15)人

内15歳未満1,667人[11.4%]
 内65歳以上5,667人[39.0%]

世帯数 7,175(-17) 世帯

増 転入12人出生11人その他0人
 減 転出14人死亡26人その他0人
 ※括弧内は前月比

編集室

▼今年は、比較的穏やかなお正月となりました。みなさま、あけましておめでとうございませう。
 ▼今号では、戌(いぬ)年にちなみ、ご家庭で飼ってられる犬を紹介しよう、前々号で募集を行いました。結果、18名の方から、21匹の応募をいただきました。▼「とても1ページに収まらない」と思いましたが、どの方からも愛犬を家族同然大切に思う気持ちが感じられ、当初1ページの予定を2ページに増やし、すべて掲載することになりました。▼また、恒例の「年男・年女 今年の抱負を語る」では、6人の町民の方々に登場していただきました。この場を借りてお礼申し上げます。▼今後も、「みんなで作る広報誌」を心がけていきたいと思しますので、本年もどうぞよろしく願いいたします。(T・K)